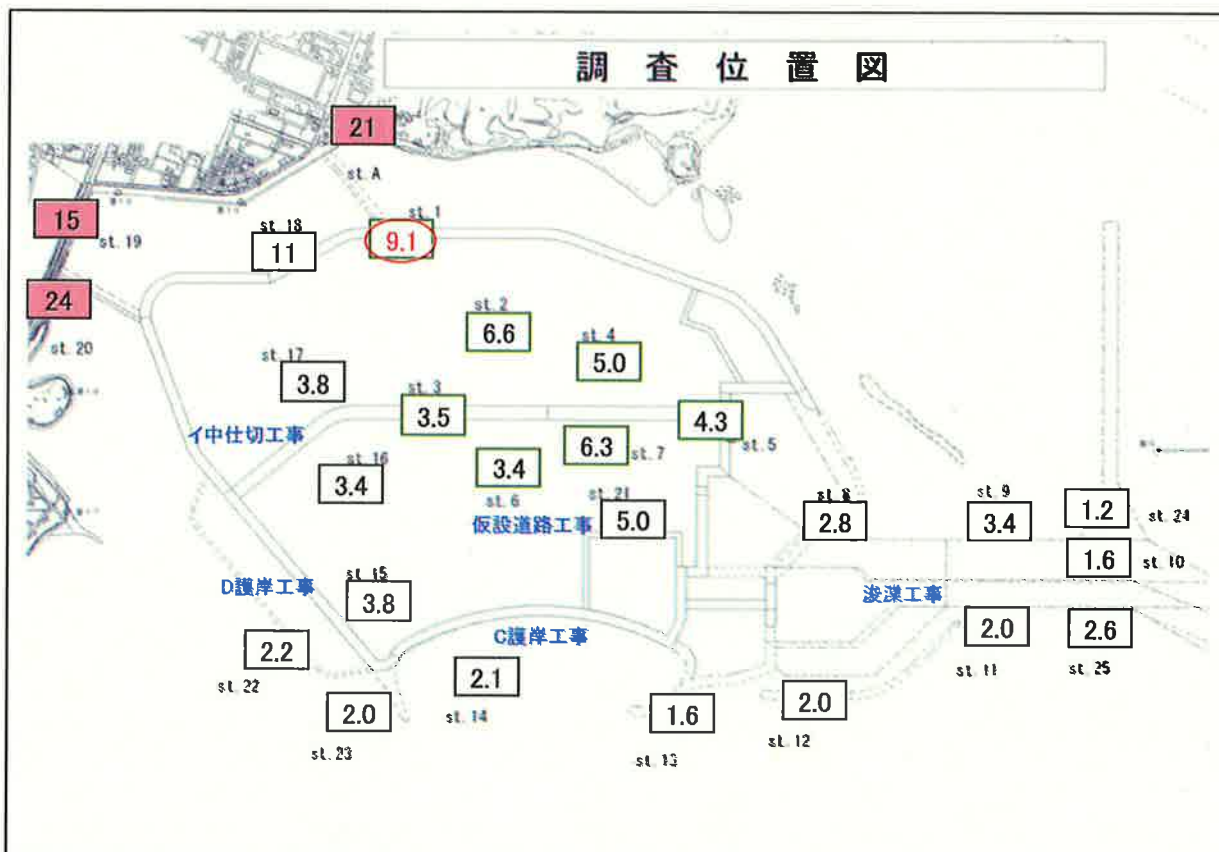


## 数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 19 年 10 月 9 日 ( 火 ) 15:00

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
	晴	SW ~ SSW	1 ~ 3	上げ潮	



### 濁り(SS)監視基準

- クビレミド口監視地点
    - st.1~4 7mg/L
    - st.5~7 11mg/L
  - 工事の濁り監視地点
    - st.8~18, 21~25 11mg/L
  - 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点
- (st.19、20、Aは監視地点ではないため、基準値は設定されていない。)

工事の状況	内容
イ中仕切工事	・土のう運搬・設置
D護岸工事	・被覆石運搬・設置
C護岸工事	・汚濁防止膜設置
浚渫工事	・汚濁防止膜設置
仮設道路工事	・土のう製作・設置

### 数値基準を超過した調査区域の状況

st.1を中心に陸域に近い範囲で白濁していた。

### 評価

工事箇所周辺における濁り(SS)は、基準超過が確認された地点よりも低い値であった。基準値を超過した要因は強風や低潮位時による底質の巻き上げなどが考えられる。

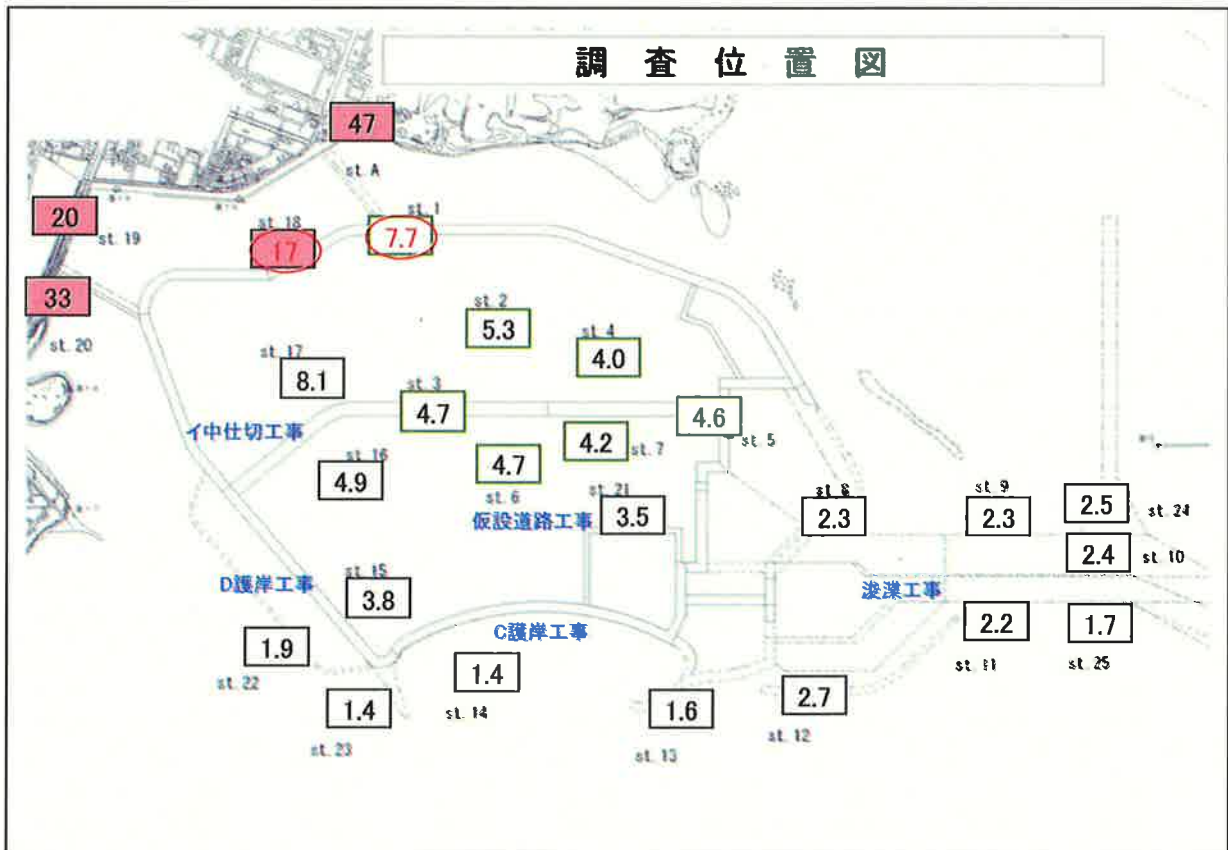




## 数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 19年 10月 15日 (月) 15:00

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
	曇～晴	N ~ NE	1 ~ 5	上げ潮	



### 濁り(SS)監視基準

- クビレミドロ監視地点 st.1~4 7mg/L ○ 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点
  - 工事の濁り監視地点 st.5~7 11mg/L
  - 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点
- (st.19、20、Aは監視地点ではないため、基準値は設定されていない。)

工事の状況	イ中仕切工事	・土のう設置、裏埋材投入
	D護岸工事	・捨石運搬・投入
	C護岸工事	・汚濁防止膜補修
	浚渫工事	・汚濁防止膜設置
	仮設道路工事	・土のう製作・設置

### 数値基準を超過した調査区域の状況

北東より強い風が吹いていた。

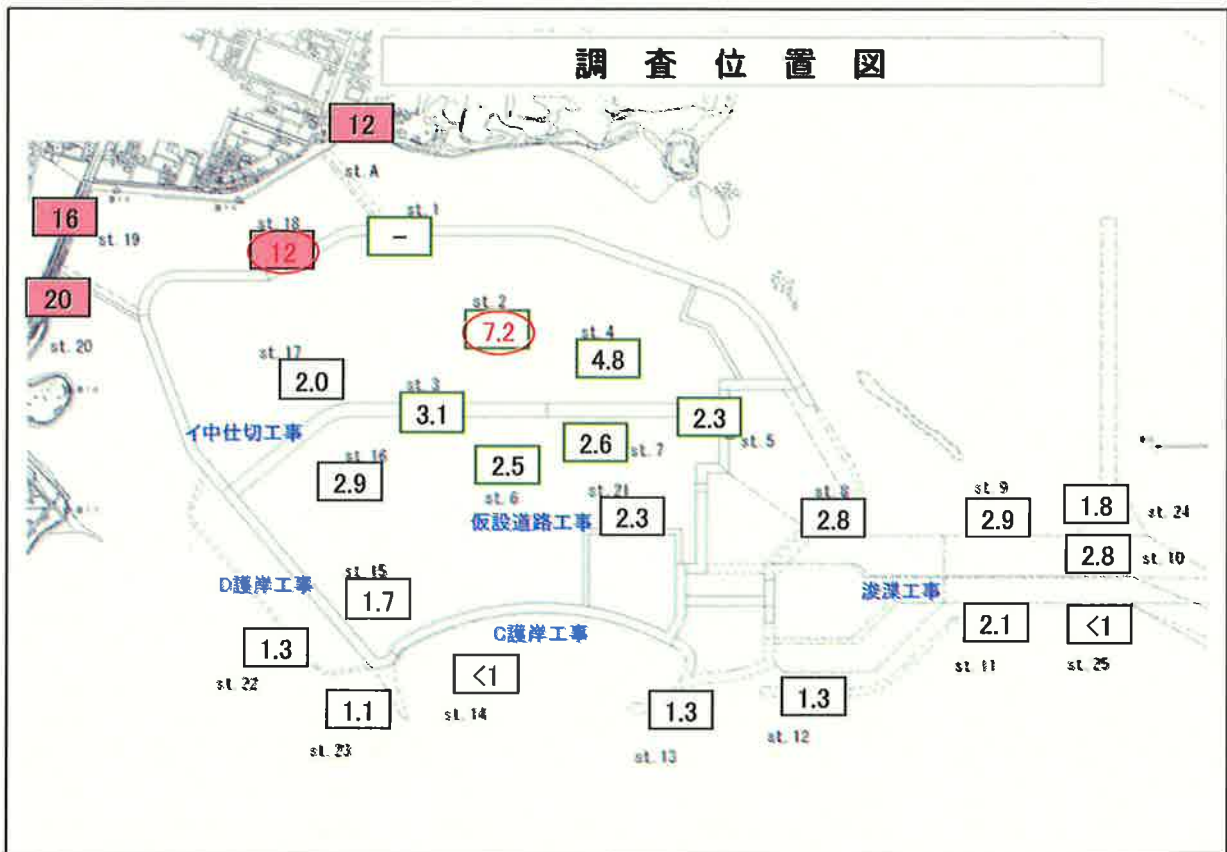
### 評価

北東よりの風が非常に強く(最大風力5)であり測定時は干潮時であった。  
基準値を超過した要因は水深が浅く、海底に堆積していた土砂が強風により巻き上げられた為と考えられる。

## 数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 19年 10月 20日 (土) 10:00

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
	晴	N	3 ~ 5	上げ潮	北の風が強く非常に時化していた



### 濁り(SS)監視基準

- クビレミド口監視地点 st.1~4 7mg/L
 
 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点
  - 工事の濁り監視地点 st.8~18, 21~25 11mg/L
 
 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点
- (st.19, 20, Aは監視地点ではないため、基準値は設定されていない。)

工事の状況	イ中仕切工事	・土のう設置、裏埋材投入
	D護岸工事	・土のう設置
	C護岸工事	・捨石運搬・投入
	浚渫工事	・汚濁防止膜設置
	仮設道路工事	・土のう製作・設置

**数値基準を超過した調査区域の状況**

強い風の影響により、海底の砂等が巻き上がり浅瀬周辺に位置する地点では白濁しているのが確認された。

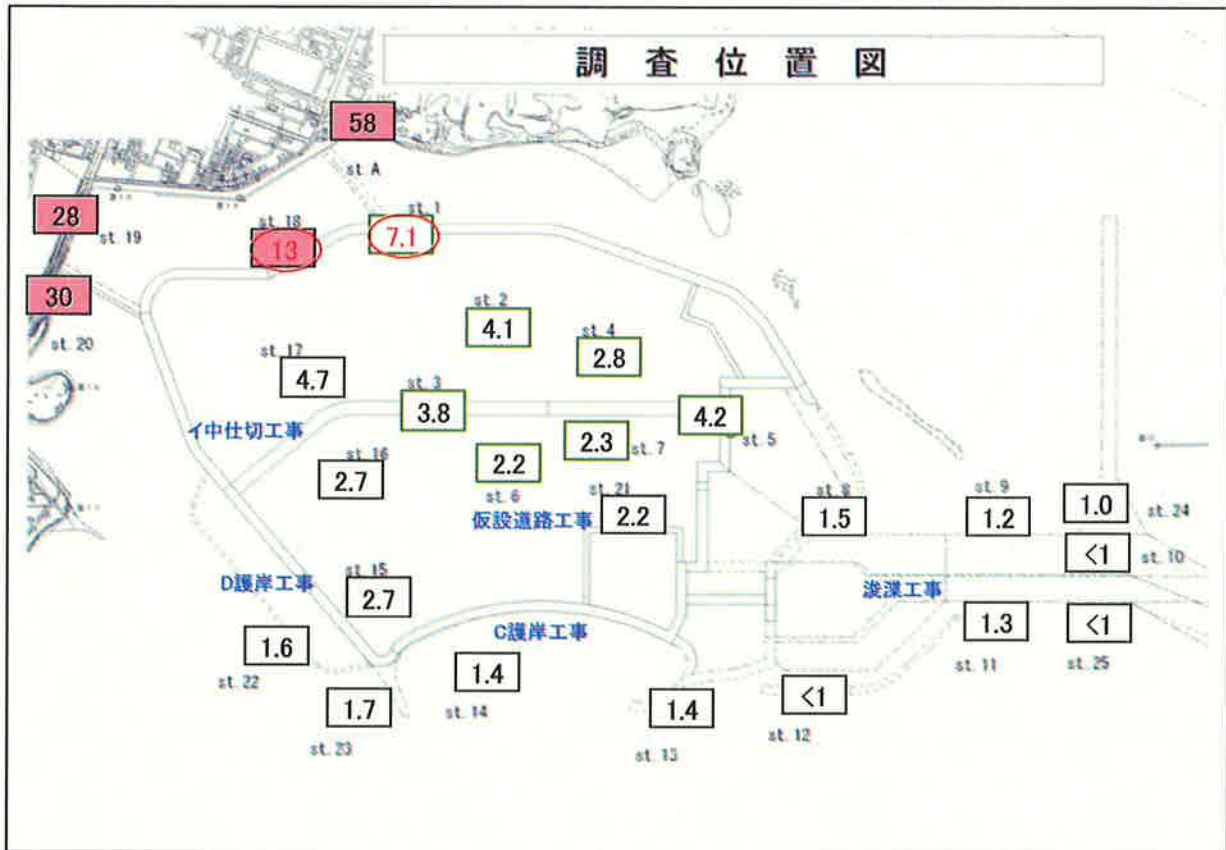
**評価**

工事箇所周辺における濁り(SS)は、基準超過が確認された地点よりも低い値であった。基準値を超過した要因は北の風が強く(最大風力5)海底の砂等が強風により巻き上げられた為と考えられる。

## 数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 19 年 10 月 29 日 ( 月 ) 15:00

気象状況	天気	風向	風力	潮汐	備考
	晴	E NE	3 ~ 4	上げ潮	午後から風が強くなった。



### 濁り(SS)監視基準

- クビレミドロ監視地点 st.1~4 7mg/L     
 
 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点  
 st.5~7 11mg/L
- 工事の濁り監視地点 st.8~18, 21~25 11mg/L     
 
 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点  
 (st.19, 20, Aは監視地点ではないため、基準値は設定されていない。)

工事の状況	内容
イ中仕切工事	・土のう設置
D護岸工事	・捨石運搬・投入
C護岸工事	・捨石投入
浚渫工事	・浚渫作業
仮設道路工事	・土のう製作・設置

**数値基準を超過した調査区域の状況**

St.1の東側で干潮と強風により底質の巻き上げが発生していた。

**評価**

工事箇所周辺における濁り(SS)は、基準超過が確認された地点よりも低い値であった。基準値を超過した要因は東ないし北東の風が強く(最大風力4)海底の砂等が強風により巻き上げられ、東風によって濁りが流れてきたことが影響していると考えられる。